

## 令和4年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

- ◆「生きる力」を育む教育活動の充実を図るとともに、生徒の個性を伸ばさせ、社会をリードする人材を育成する学校。
- 1 学習において、主体的に知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する「確かな学力」を育成する。
  - 2 生命や人権を尊重し、自然や美しいものに感動する「豊かな心」を育むとともに、たくましく生きるための「健康・体力」を保持増進する。

## 2 中期的目標

## 1 新しい時代を生き抜くための「確かな学力」の育成

- (1) 生徒一人ひとりの状況に応じた学習指導の推進
  - ア すべての教科において、主体的・対話的で深い学びの実現をめざし、一人ひとりの生徒が能動的に参加できるように授業の工夫を行い、今後必要とされる学力の向上をめざした授業研究・実践に取り組む。
  - イ 定期的に会議を実施し、個々の生徒の状況を共有し、課題のある生徒に対して組織的に対応する。
- (2) 自学自習習慣の確立
  - ア 自学自習習慣の確立のため、自習環境の整備・提供を行うなど学習環境の整備に努め、生徒の自ら学ぶ力を育成する。  
※授業アンケート調査で、「授業内容に、興味・関心をもつことができた。」「授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている。」の「そう思う（だいたいそう思う）」の割合を令和6年度も共に全学年で80%以上を維持する。(R1 77% R2 80% R3 81.5%)

## 2 豊かでたくましい人間性のはぐくみ

- (1) 基本的生活習慣の確立
  - ア 遅刻指導やマナー指導を通じ、基本的生活習慣の向上や学校生活における規範意識の醸成を図る。
- (2) 学校行事の活性化
  - ア 生徒会や部活動・団活動のリーダーを中心に、生徒一人ひとりが協力し合い、本校の特色を活かした取り組みについて、生徒の自主的な活動を促進する。
  - イ 学校行事や生徒会活動の特別活動を通して、他者を理解し、望ましい集団活動ができる態度を育成する。
  - ウ ボランティア活動を通して、他者とかかわる喜びを実感させ、共生の意識を身につけさせる。
- (3) 体力・運動能力向上のための取組の充実
  - ア 生徒が安心・安全かつ積極的に体育・スポーツ活動に取り組むことができるようコンディショニングについてのセミナーを開催し、スポーツ障がいやコンディショニングについての生徒の意識を高める。  
※3学期の生徒・保護者アンケート調査で、「本校は生徒心得を守るよう適切に指導している（されている）」と「私は服装や頭髪等、生徒心得を守っている。」の「あてはまる（ややあてはまる）」の割合を令和6年度には共に全学年で85%以上にする。(R1 82.9% R2 88.9% R3 84.9%)

## 3 進路保障

- (1) キャリア教育の推進
  - ア 全ての教育活動をキャリア教育と位置づけ、基礎的・汎用的能力を育成する。効果的な指導を行うためのガイダンスなどを系統的・継続的に行う。また、教科でのキャリア教育を推進し、思考力・判断力・表現力をより重視した教育活動を進める。
- (2) 進学対策の充実
  - ア 放課後セミナー、土曜セミナー等を実施し、進路や習熟度に応じた対策を講じる。
  - イ 学年・学科・系列と協力し、一人ひとりの進路希望に則した、進路意欲向上のためのガイダンスの実施や情報発信をおこなう。  
※2年生3学期の生徒アンケート調査で、「私は具体的な進路目標を持っている」の割合を令和6年度には80%以上にする。  
(R1 64.0% R2 73.1% R3 72.3%)  
※3学期の生徒・保護者アンケート調査で、「本校では進路に関する情報提供が十分に提供され、きめ細かい指導が行われている」の「あてはまる（ややあてはまる）」の割合を令和6年度には全学年で80%以上にする。(R1 68.9% R2 74.4% R3 76.8%)  
※系統的な指導を継続し、生徒の学力の一層の向上に努め、第3学年当初の進路希望を令和6年度も90%以上を維持する。  
(R1 92% R2 92% R3 94.3%)

## 4 学校の組織力向上と魅力のある開かれた学校づくり

- (1) 学校運営体制の整備
  - ア 各分掌や学科・系列・教科の業務や指導内容を点検・評価を行い、校内の「見える化」をさらに進める。
  - イ 本校の将来を見据えた課題解決の方向性を示し、改善策を立案する。
- (2) 授業研究を伴う校内研修の充実
  - ア 授業力・教科指導力の向上を目的として、公開授業週間および保護者対象の授業参観を実施する。
- (3) 働き方改革
  - ア 各種業務の時間の短縮を図り、時間外勤務月80hの教職員を令和6年度には10%以下とする。(R1 19% R2 18% R3 18%)
- (4) 家庭・地域との連携の推進
  - ア 「学年だより」「進路だより」「保健だより」の発行、授業参観、PTA研修会等の実施、地域イベントへの参加などにより家庭・地域と連携した教育活動を行う。
- (5) 広報活動の充実
  - ア 生徒の学校生活や校内行事、校外活動などについて、ホームページを通じて外部に積極的に情報を発信する。  
※3学期の生徒アンケート調査で、「本校に入学してよかったと思っている」の「あてはまる（ややあてはまる）」の割合を全学年で令和6年度も80%以上を維持するにする。(R1 70.9% R2 77.0% R3 83.0%)

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和5年1月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p><b>【学習指導等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい時代を生き抜くための「確かな学力」の育成に向け、多様な生徒に対し、生徒一人ひとりの状況に応じた学習指導に取り組んだ。ネットワーク環境が整備されたことや、1人1台端末が配備されたこともあり、積極的にICT機器を活用している教員の割合は85%に達しているが、主体的・対話的で深い学びとなるような授業が常に展開できている教員は70%であり、今後、さらに研鑽を積む必要がある。</li> </ul> <p><b>【生徒指導等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頭髪や服装の乱れはほとんどないが、今年度に入り遅刻が810件から約2,000件に激増した。原因を究明し、指導方法を抜本的に見直す必要がある。</li> <li>・生徒会役員を中心に、生徒が主体的に学校行事を運営しており、満足度は92.5%と高い。また、ボランティア活動ものべ146人の生徒が清掃活動に参加し、地域のこども食堂の調理ボランティアに希望者が殺到するなど、豊かでたくましい人間性は育ちつつある。</li> </ul> <p><b>【学校運営】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革について、時間外在校等時間が月80時間以上の教職員は年度当初より大幅に減少しているが、いまだ多くの教員が該当している。啓蒙活動に加え、全校定時退勤日の設定を機に、一層の意識改革を推進する必要がある。また、周知するだけでなく、業務内容を精選し合理化を図っていく環境づくりを進める必要がある。</li> <li>・志願者確保に向け、生徒を前面に押し出すなど先鋭的な広報活動の研究ならびに積極的な情報発信に努めたい。</li> </ul>	<p>第1回（4/28）</p> <p>○R4年度学校経営計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移管後も、移管前と変わらない教育環境を維持し生徒から注目を浴びる学校づくりに取り組んでもらいたい。</li> <li>・地域や保護者に対し情報提供を積極的に行い、開かれた安全で安心な学校づくりをめざしてほしい。</li> <li>・環境を整備し、ICT機器を活用した授業やアクティブラーニング型の授業を積極的に展開されたい。</li> <li>・中高一貫校の特性を生かした中高連携、さらには進路保障を見据えた高大連携を推進されたい。</li> <li>・ホームページの充実と中高で統一した運営を検討されたい。</li> </ul> <p>第2回（10/31）</p> <p>○R4年度学校経営計画（進捗状況）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」について、教員の積極的なICT機器の活用を中心に、1人1台端末の利用が定着し、多くの授業で展開できている点は評価できる。</li> </ul> <p>○R4年度学校教育計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特色のある学校なので、移管後も教育水準が維持できるように、引き続き手厚い支援を学校運営協議会からも教育庁へお願いしたい。</li> </ul> <p>○「スクール・ミッション」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合学科、演劇科、食物文化科の3学科が、さらに発展するよう学校の取り組みを充実されたい</li> </ul> <p>第3回（3/25）</p> <p>○R4年度学校経営計画及び学校評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携、特に近隣小学校への出前授業等を行い、中高一貫教育を生かしたキャリア教育の充実を図ってほしい。</li> <li>・府立になったことを受けて、さらなる外部への広報活動を含めた開かれた学校づくりの充実をお願いしたい。</li> </ul> <p>○R4年度学校教育自己診断の結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師等を招いた生徒向け講演会の内容について、保護者も聞くことのできる機会をお願いしたい。</li> </ul>

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R3年度値]	自己評価

## 府立咲くやこの花高等学校

<p>1 新しい時代を生き抜くための「確かな学力」の育成</p>	<p>(1) 生徒一人ひとりの状況に応じた学習指導の推進</p> <p>(2) 自学自習習慣の確立</p>	<p>(1) ア 主体的・対話的で深い学びの実現をめざし、一人ひとりの生徒が能動的に参加できるようにアクティブラーニング型手法を取り入れた授業を行い、今後必要とされる学力の向上をめざした授業研究・実践に取り組む。</p> <p>イ 授業への ICT 機器の積極的な活用を進め、オンラインでの指導や動画配信等、遠隔による授業を行うことができる体制を整える。</p> <p>(2) 学習の計画を明確にし、提示することにより、各授業時間・単元ごとの課題と評価を整理して、生徒の学習サイクルの確立および自主学習の習慣化を促す。また、自習場所を提供するなどソフト・ハード両面から学習環境を整える。</p>	<p>(1) ア・教職員向けアンケートで、「主体的・対話的で深い学びとなるよう、一方的な講義形式ではない授業形式など授業を工夫している」教員の割合を75%以上とする。</p> <p>・授業アンケート調査で、「授業内容に、興味・関心をもつことができた。」の割合を全学年で80%以上にする。 [81.7%]</p> <p>・授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている。「そう思う(だいたいそう思う)」の割合を全学年で80%以上にする。 [81.3%]</p> <p>イ・校内でオンライン授業研修を2回実施する。</p> <p>・教職員向けアンケートで、「授業において積極的に ICT 機器の活用を行っている」教員の割合を75%以上とする。</p> <p>(2) 生徒の自学自習習慣確立のため、土曜セミナー(自習スペース開放)を年間10回以上実施する。</p>	<p>ア・ほとんどの教員が ICT 機器を活用しているが、本格的にアクティブラーニング型手法を取り入れている割合は70%にとどまった。今年度は ICT 機器の運用方法に関する研修が中心であったが、次年度は先進事例などを参考に、研修内容を工夫して授業力向上をめざしたい。(△)</p> <p>・授業アンケート結果において、興味・関心の肯定率は82.1%であった。(○)</p> <p>・授業アンケート結果において、知識・技能の肯定率は83.7%であった。(○)</p> <p>今後も学力向上に向け、研鑽を続けたい。</p> <p>イ・校内研修は1回の実施であった。次年度は計画通りに実施したい。(△)</p> <p>・ICT 機器を活用して授業を行っている教員の割合は89.4%となり、教科を問わず積極的に取り組んでいる。(◎)</p> <p>(2) 土曜セミナーは9回の実施であったが、自学自習習慣の確立に加え、大学生の学習ボランティアを活用することにより学力の定着も図れた。(△)</p>
<p>2 豊かでたくましい人間性のほぐし</p>	<p>(1) 基本的な生活習慣の確立</p> <p>(2) 学校行事の活性化</p> <p>(3) 体力・運動能力向上のための取組の充実</p>	<p>(1) 挨拶運動や日々の遅刻指導等を通じて、基本的な生活習慣の確立や規範意識の醸成を図る。</p> <p>(2) 学校行事や生徒会活動等の特別活動を通して、他者を理解し、望ましい集団活動ができる態度を育成する。また、ボランティア活動を通して、他者とかかわる喜びを実感させ、共生の意識を身につけさせる。</p> <p>(3) 生徒が安心・安全かつ積極的に体育・スポーツ活動に取り組むことができるように運動部の部員を中心にコンディショニングについてのセミナーを開催する。</p>	<p>(1) 年間の遅刻数を800件以下とする。[810件]</p> <p>(2) ・体育祭・文化祭後の生徒アンケートで肯定的回答を85%以上とする。</p> <p>・ボランティア活動として、校内自主清掃活動や地域清掃活動に参加した生徒の数を50名以上とする。</p> <p>(3) ・運動部の部員に対して年1回以上コンディショニングについてのセミナーを開催する。 [1回]</p> <p>・セミナー参加生徒の満足度を80%以上とする。</p>	<p>(1) 遅刻数が激増しており、毎朝の挨拶運動に加え、遅刻指導強化週間等の対策を講じたが、歯止めは効かず約2,000件となった。原因を分析し、次年度は大幅に減少させたい。(△)</p> <p>(2) 満足度は92.5%であった。今後も生徒主体の行事運営を続けたい。(○)</p> <p>・大阪市環境局が主催する「大阪市一斉清掃“クリーンアップ作戦”」に清掃ボランティアとして146名参加した。(○)</p> <p>(3) セミナーは1回開催した。(○)</p> <p>・満足度は96%であった。(○)</p> <p>次年度以降も、運動能力や競技力向上だけでなく、安全にスポーツに取り組めるように心がけていきたい。</p>

## 府立咲くやこの花高等学校

<p style="text-align: center;">3 進路保障</p>	<p>(1) キャリア教育の推進</p> <p>(2) 進学対策の充実</p>	<p>(1) 全ての教育活動をキャリア教育と位置づけ、基礎的・汎用的能力を育成するとともに、主体的・対話的で深い学びを実践する力の育成をめざして系統的・継続的なガイダンスを行う。</p> <p>(2)</p> <p>ア 生徒のニーズに的確に対応するため、放課後セミナー、夏期集中セミナー、冬期集セミナーなどの各種セミナーを実施し、進路や習熟度に応じた対策を講じる。</p> <p>イ 生徒個々の進路希望に則した、進路意欲向上のためのガイダンスを担当団と各分掌の連携のもと実施し、生徒の進路実現に向けた情報発信を継続的にこなう。</p>	<p>(1) ガイダンスや 進路学習など学年の状況や実態に応じたキャリアガイダンスを各学年とも学期に1回以上実施する。</p> <p>(2)</p> <p>ア・放課後セミナーの講座数を30講座以上開講する。[34講座]</p> <p>・進路ガイダンスを2・3年生は複数回、1年生も1回は実施できたか。[1年0回 2年3回 3年8回]</p> <p>イ 学習支援クラウドサービスを活用した生徒、保護者向けの進路情報の発信を月1回以上実施する。[10回]</p> <p>ア、イ</p> <p>・2年生3学期の生徒アンケート調査「私は具体的な進路目標を持っている」の割合を75%以上にする。[71.5%]</p> <p>・3学期の生徒・保護者アンケート調査「本校では進路に関する情報提供が十分に提供され、きめ細かい指導が行われている」の「あてはまる(ややあてはまる)」の割合を全学年で80%以上にする。[76.8%]</p> <p>・第3学年当初の進路希望を85%以上実現する。[84.6%]</p>	<p>(1) ガイダンスは1年4回、2年3回、3年1回開催した。今後も全ての教育活動をキャリア教育とした位置づけで臨みたい。(△)</p> <p>(2)</p> <p>ア・生徒のニーズに合わせて開講した放課後セミナーの講座数は29回。次年度も希望する進路や習熟度に沿った内容でセミナーを開講する。(△)</p> <p>・1年1回、2年3回、3年8回のガイダンスを実施した。(○)</p> <p>イ・進路だよりを12回発行することを中心に、保護者への情報提供に努めた。(○)</p> <p>ア、イ</p> <p>・具体的な進路目標を持っている生徒の割合は78.3%であった。(○)</p> <p>・保護者の進路に関する肯定率は82.1%であった。(○)</p> <p>・希望進路実現率87%であった。(○)</p> <p>今後も生徒の進路実現に向け、家庭と十分な連携を取るよう努めたい。</p>
---	---	---	---	--

## 府立咲くやこの花高等学校

4 学校の組織力向上と魅力のある開かれた学校づくり	(1) 学校運営体制の整備	(1) ア 校務運営の一層の充実を図るため、各分掌や学科・系列・教科の業務や指導内容について点検・評価を行い、校内の「見える化」及び業務の精選を進める。  イ 本校の抱える問題を明確化し、将来を見据えた課題解決のための方策を探るため、将来構想検討委員会を定期的に開催する。	(1) ア、イ 校務運営の在り方も検討する将来構想検討委員会を年間5回以上開催する。[4回]	(1) ア、イ ・将来構想検討委員会を4回開催。スクール・ミッション(案)策定を中心に活発な議論がなされた。(○)
	(2) 授業研究を伴う校内研修の充実	(2) 教職員間での公開授業週間および保護者対象の授業参観を実施することを通じて授業力・教科指導力の向上をめざす。	(2)・公開授業週間、保護者対象授業参観をそれぞれ年2回以上実施する。[公開授業週間2回、保護者対象授業参観0回]  ・公開授業週間で教員向けアンケートを実施し、アンケート結果を自らの授業改善に生かすことが出来た教員の数を70%とする。	(2) 公開授業週間2回実施、授業参観1回実施。1学期予定の保護者参観は中止したが、次年度は計画通りの実施をめざす。(△)  ・肯定率は79%であった。(○)
	(3) 働き方改革	(3) 業務内容の精選等を通じて、各種業務の時間の短縮を図り、教職員の時間外勤務の縮減を推進する。	(3)・時間外勤務月80時間以上の教職員数10%以下をめざす。 ・職員会議の70%以上を開催時間50分以内とする。[20%]	(3)・時間外在校等時間が80時間以上の教職員の割合は11%であった。(△)  ・58%が50分以内に終了できた。(△) 次年度は全校一斉定時退勤日とノークラブデーの徹底をし、時間外在校等時間の減少に一層取り組む。
	(4) 家庭・地域との連携の推進	(4) 開かれた学校づくりのため、「学年だより」「進路だより」「保健だより」等の発行や教職員・PTA 合同の研修会等の実施、生徒の地域イベントへの参加などに取組み、家庭・地域と連携した教育活動を充実させる。	(4)・各通信は各学期1回以上発行する、[各通信発行達成] ・教職員・PTAの合同研修会を1回以上実施する。[合同研修会1回] ・また此花区で開催される地域イベント等に生徒が参加することができたか。 [地域イベント参加2回]	(4)・学年だよりは1年12回、2年6回、3年12回、進路だよりは12回、保健だよりは12回発行した。(○) ・人権に関するテーマで1回合同研修会を開催。(○) ・演劇科が地域福祉協議会の会合で歌唱と舞踊を披露、食物文化科がこども食堂で料理をふるまった。今後も地域との連携を強化していきたい。(○)
	(5) 広報活動の充実	(5) ホームページの更新を通じて積極的に学校に関する情報を発信し、学校の魅力を外部に伝える。	(5) ホームページにおいて、様々な取組について毎日1回以上の更新を実施する。[155回]  (1)、(2)、(3)、(4)、(5) 3学期の生徒アンケート調査「本校に入学してよかったと思っている」の「あてはまる(ややあてはまる)」の割合を全学年で80%以上にする。[83%]	(5) 187回更新し、情報発信に努めた。次年度はホームページのレイアウトの見直しなど、志願者確保に繋がる工夫を計画している。(○)  ・生徒の学校に対する満足度の割合は84.6%であった。ミスマッチによる転退学を減少させるためにも、本校の魅力や教育内容を正しく伝えるように工夫したい。(○)